

# 校内型ワークショップ（WS）後の Lions Quest ライフスキル教育の実施にむけて ～事例紹介～

校内型 WS 後の学校規模での実践事例をご紹介します。

ライフスキル教育を最大限活用いただくために、

- ★ 学校・家庭・地域（ライオンズクラブなど）の連携と、
- ★ 継続的な実施 をおすすめしています。

★ 学校・家庭・地域（ライオンズクラブなど）の連携のために★

## 学校・家庭・地域の役割

※実践校の仕組みや教師である

講師の意見を基に作成した実践例です

【学校】子どもにライフスキル教育の授業を実施し、学校生活でのスキルの活用を支援します

【家庭】子どもが学んでいるライフスキルを家庭でも活用して見本を示すとともに、  
子ども自身が日常生活でスキルを活用することを支援します

【地域（ライオンズクラブ）】学校で継続的にライフスキル教育を実施できるようサポートします

★ 継続的な実施のために★

## “ライフスキル教育”担当チームの設置

授業の継続実施のために、“ライフスキル教育”担当チームの設置をすると、継続的向上に役立ちます。

<担当チームの役割（例）>

- 【年間指導計画の作成】学校教育目標の中にライフスキル教育を位置づけ、授業を実施する時間枠（総合的な学習の時間など）のねらいと関連づける、ライフスキル教育の全体計画や学年ごとの年間指導計画を提案する など
- 【校内の連携】全校での協力体制づくりや学年間の連携を図る など
- 【外部との連携】保護者、ライオンズクラブ、他の実践校、J I Y D などとの連携を図る など
- 【研修会の開催】他の実践校教員・JIYD 講師を招いたり、学年間で模擬授業を発表し合うなど、研修会を企画・実施する

<担当チームの一例>

### 【例1】総合的な学習の時間の担当の先生方が担当

ライフスキル教育を総合的な学習の時間で行っているある学校では、その担当の先生方がライフスキル教育担当を兼務されています。ライフスキル教育を道徳や特別活動の中で行う場合は、その時間枠の担当の先生がライフスキル教育担当を兼ねることが考えられます。

### 【例2】“ライフスキル教育”委員会を設置

\* 中には“ライフスキル教育”委員会を設置している学校もあり、校長・教頭・各学年のライフスキル教育の担当者などで構成されています。この委員会の中に、ライオンズクラブメンバーや保護者を始め、地域の方々に入っただき、「地域連携委員会」を作る方法も考えられます。

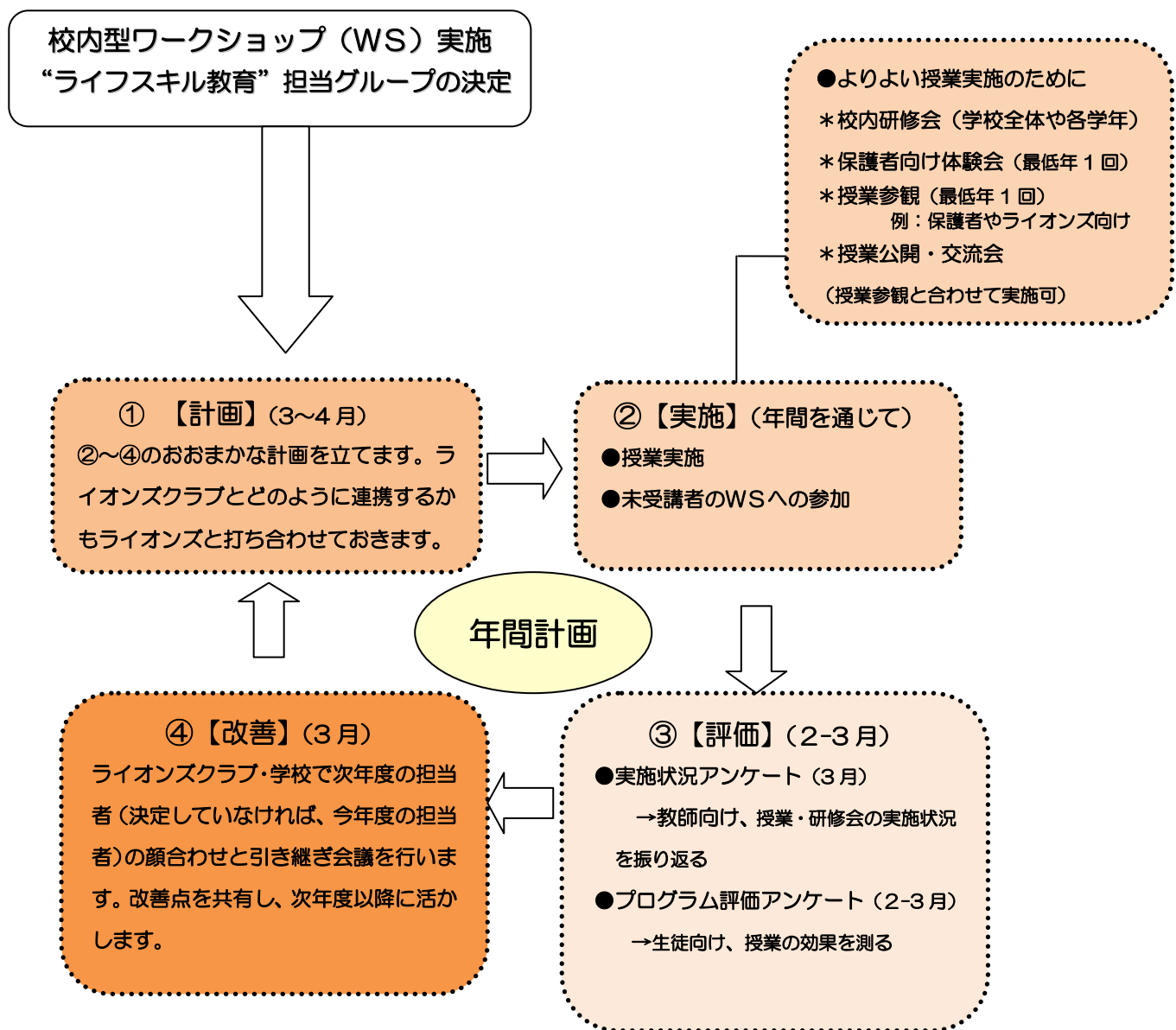
実践校で活用されている年間指導計画、総合的な学習の時間とライフスキルとの関連表、授業の台本、授業で使いやすいよう工夫されたワークシートなどの一例もご紹介します。詳しくはライオンズクラブへお問い合わせください。

# Lions Quest ライフスキル教育推進のための方法

## 実施・継続の四要素

→次ページのチェックリスト参照

- ① 【計画】ライオンズクラブと連携し、ライフスキル教育推進のための年間の活動計画をたてる  
授業を実施するために、各学年の実施時間数等決め、年間指導計画をたてる
- ② 【実施】授業を行う、ライフスキルの校内研修を開催する、授業公開を行うなど・・・
- ③ 【評価】アンケートを実施する
- ④ 【改善】一年間の振り返りをし、翌年に向けて改善点を共有する



- \* 校内型WS終了後、早い段階で他の実践校を見学するなどして、校内推進の体制づくりをすること、授業開始から半年後を目安にフォローアップWSを実施することをお勧めしています。
- \* ご不明な点などありましたら、担当のライオンズクラブまたはJ | YDにご相談ください。

# 実践校支援年間スケジュールチェックリスト

以下のチェックリストをもとに、具体的な年間スケジュールを記入し、ご活用下さい。研修会の開催や費用の分担などはライオンズクラブと打ち合わせの上、それぞれの予算に応じて決定して下さい。

＜今年度の担当者情報（例）＞		＜今年度の担当者情報＞																																	
学校	学校名：J I Y D中学校 ご連絡先：00-0000-000 ご担当者：青少年太郎	学校	学校名： ご連絡先： ご担当者：																																
ライオンズ	ご所属：Aライオンズクラブ お名前：育成花子 ご連絡先 00-0000-000	ライオンズ	ご所属： お名前： ご連絡先：																																
＜年間スケジュール（例）＞		＜年間スケジュール＞																																	
3月   6月 8月  9月 11月 12月  3月   次年度 4月	<input type="checkbox"/> 校内型WSの開催 ✓ <input type="checkbox"/> 支援クラブ・地区の決定 <input type="checkbox"/> 年間計画の策定 ＜授業実施計画＞ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年生</td> <td>6 時間</td> <td>6 時間</td> <td>2 時間</td> </tr> <tr> <td>2 年生</td> <td>6 時間</td> <td>6 時</td> <td>2 時間</td> </tr> <tr> <td>3 年生</td> <td>4 時間</td> <td>4 時</td> <td>1 時間</td> </tr> </tbody> </table>		1 学期	2 学期	3 学期	1 年生	6 時間	6 時間	2 時間	2 年生	6 時間	6 時	2 時間	3 年生	4 時間	4 時	1 時間	____ 月 ____ 月 ____ 月  ____ 月 ____ 月 ____ 月  ____ 月 ____ 月 ____ 月  ____ 月 ____ 月 ____ 月  ____ 月 ____ 月	・ ・ ・ ＜授業実施計画＞ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年生</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>2 年生</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>3 年生</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> </tbody> </table>		1 学期	2 学期	3 学期	1 年生	時間	時間	時間	2 年生	時間	時間	時間	3 年生	時間	時間	時間
	1 学期	2 学期	3 学期																																
1 年生	6 時間	6 時間	2 時間																																
2 年生	6 時間	6 時	2 時間																																
3 年生	4 時間	4 時	1 時間																																
	1 学期	2 学期	3 学期																																
1 年生	時間	時間	時間																																
2 年生	時間	時間	時間																																
3 年生	時間	時間	時間																																
次年度 4月		<input type="checkbox"/> 責任者の先生への研修会 <input type="checkbox"/> 受講者の近隣WSへの参加	次年度 ____ 月																																
＜次年度の担当者情報＞（例）		＜次年度の担当者情報＞																																	
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">学校</td> <td>ご担当者：青少年太郎</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ライオンズ</td> <td>                             ご所属：Aライオンズクラブ                              お名前：育成花子                              ご連絡先：00-0000-000                         </td> </tr> </table>	学校	ご担当者：青少年太郎	ライオンズ	ご所属：Aライオンズクラブ お名前：育成花子 ご連絡先：00-0000-000		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">学校</td> <td>ご担当者：</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ライオンズ</td> <td>                             ご所属：                              お名前：                              ご連絡先：                         </td> </tr> </table>	学校	ご担当者：	ライオンズ	ご所属： お名前： ご連絡先：																								
学校	ご担当者：青少年太郎																																		
ライオンズ	ご所属：Aライオンズクラブ お名前：育成花子 ご連絡先：00-0000-000																																		
学校	ご担当者：																																		
ライオンズ	ご所属： お名前： ご連絡先：																																		

## \* J I Y Dやライオンズクラブから受けられるサポート例 \*

学校でライオンズクエストのライフスキル教育を実施する中で、困ったことや分からないことがあればJ I Y Dやライオンズクラブに相談してください。

J I Y Dやライオンズクラブからのサポートとしては、以下のようなものが考えられます。

- WS 未受講者を WS への参加させたい ⇒ 地域のWS 開催情報を提供してもらう
- 他の実践校の実践事例を学びたい ⇒ 地域の実践校を紹介してもらう
- 校内研修を開催したい ⇒ 他の実践校やJ I Y D 講師の手配、開催費用を支援してもらう
- ゲストティーチャーを招いて児童・生徒に授業を実施してもらいたい  
⇒ J I Y Dやライオンズクラブメンバーにゲストティーチャーになってもらう、  
またはゲストティーチャーになっていただける方を紹介してもらう
- サービスラーニング（職場体験学習やボランティア体験学習）を実施したい  
⇒ ライオンズクラブに受け入れ先になってもらう、  
または受け入れ先を紹介してもらう

学校でライオンズクエストを実践する際に、課題としてよく挙げられることについて、実践校がどのように解決しているかをご紹介します。

### 研修・指導力アップの工夫

【模擬授業】 定期的に行われる学年会の最後に、次回実施予定の模擬授業を実施。（初めてその場면을授業する人や不安のある人のみ）模擬授業はライフスキル担当が行ったり、当番制で行ったりする。校内研修では、すでに終わった授業を他の学年に対して紹介し合うなど

【先生同士の授業見学】 先生同士でライフスキルの授業を見学し合う

### 授業時間の確保

【教育目標に位置づける】 学校教育目標の中にライフスキル教育を位置づけ、授業を実施する時間枠（総合的な学習の時間など）を確保する

### 授業実施の工夫

【教材や台本の共有】 教材や台本を全校で共有し、慣れていない先生でも授業が行えるよう準備

【授業担当の輪番制】 担任と副担任で、授業実施・教材準備・授業の写真撮影などの役割を交代しながら、学年全体で一緒に取り組み、当該学年の生徒に対して実施する

【TT での授業】 新任の先生やライフスキル教育に自信のない先生は、TTで授業を行う。また、担任が主に授業を担当しない場合も、授業での生徒の反応や活動ぶりを把握するために、授業中教室にいて、必要があればサポートもする

### 着任者の先生への対応

【説明会】 毎年着任式の日、必ずライフスキル教育担当の先生が、プレゼンテーション等で説明を行う

【WSへの参加】 着任後早い段階で近隣のWSに参加してもらう。ご本人の都合がつかない場合でも、こまめにWSの案内をして、1年以内での受講を促す

このほかにも多くの事例があります。詳しくはJ I Y Dやライオンズクラブへお問い合わせください。